

日本包装専士会は、SDGsに表される国連の「我々が望む未来」に沿って、「望ましい包装の未来」を考えました。その結果、以下の4分野に整理され、以下、各分野の内容の一部を抜粋して順に掲載します。

「包装を通してあるべき未来を提案する」

2030年包装の未来予測全分野

①生活者
の視点から見た
包装の未来

②食品ロス
の視点から見た
包装の未来

③循環型社会
の視点から見た
包装の未来

④包装技術全般
としての
包装の未来

未来を決めるのは生活者

- ・ 2030年 日本型システムに崩壊の危機迫る(少子高齢化、経済停滞、国際競争)
- ・ 生活者は価値観やライフスタイルを柔軟に変化させ日常生活に活路を見出す
- ・ Industry4.0情報技術、循環型経済、エシカルに代表される新たな価値観が支える。
- ・ 生活者の気持ちの変化は、街を変え、経済活動を変える。未来を決めるのは生活者。
- ・ その時、必要とされるパッケージの未来像は？

日本の基礎
が変わる

将来



https://www.irasutoya.com/2016/09/blog-post_376.html

生活者の
暮らしと気持ち
が変わる



<https://pixta.jp/illustration/10335517> [pixta.jp - 10335517](https://pixta.jp/10335517)

街
が変わる



<https://school-edu.net/archives/4039>

変えようもない
未来

変わるかもしれない
未来

変わることのできる
未来

10年後、生活者がパッケージに求めること

～し易い パッケージ

開け易い かさばらない

取り出し易い 分別し易い

中身を腐らせない、
中身の状態が分かる

分かり易い
(誤飲防止など)

～につながる パッケージ

マイロイヤル
(私だけのパッケージ)

情報・デジタル

～に優しい パッケージ

洗い物が不要になる

ディスポーザーで捨てられる
容器ごと調理できる

溶けてなくなる

食品ロスを取り巻く課題と背景

日本で可食食品ロス改善が進まない要因

1) 衛生面の課題

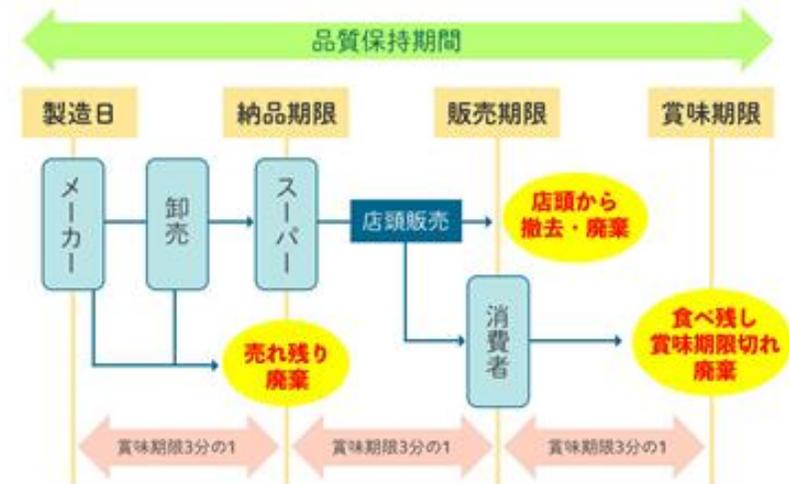
外食での食べ残しの持ち帰り
 →管理は自己責任
 高温多湿: 食中毒の危険性



<https://www.tenpo.biz/tentsu/entry/2018/03/30/150000>

2) “3分の1ルール”

納品期限、販売期限が短い
 →流通時の廃棄の割合が高い



USA : 食べ残し食品の持ち帰りの浸透

フランス : 大型スーパーで売れ残りや賞味期限切れの食品廃棄を禁止

デンマーク: 賞味期限切れや傷等の包装不良食品の専門スーパーがオープン

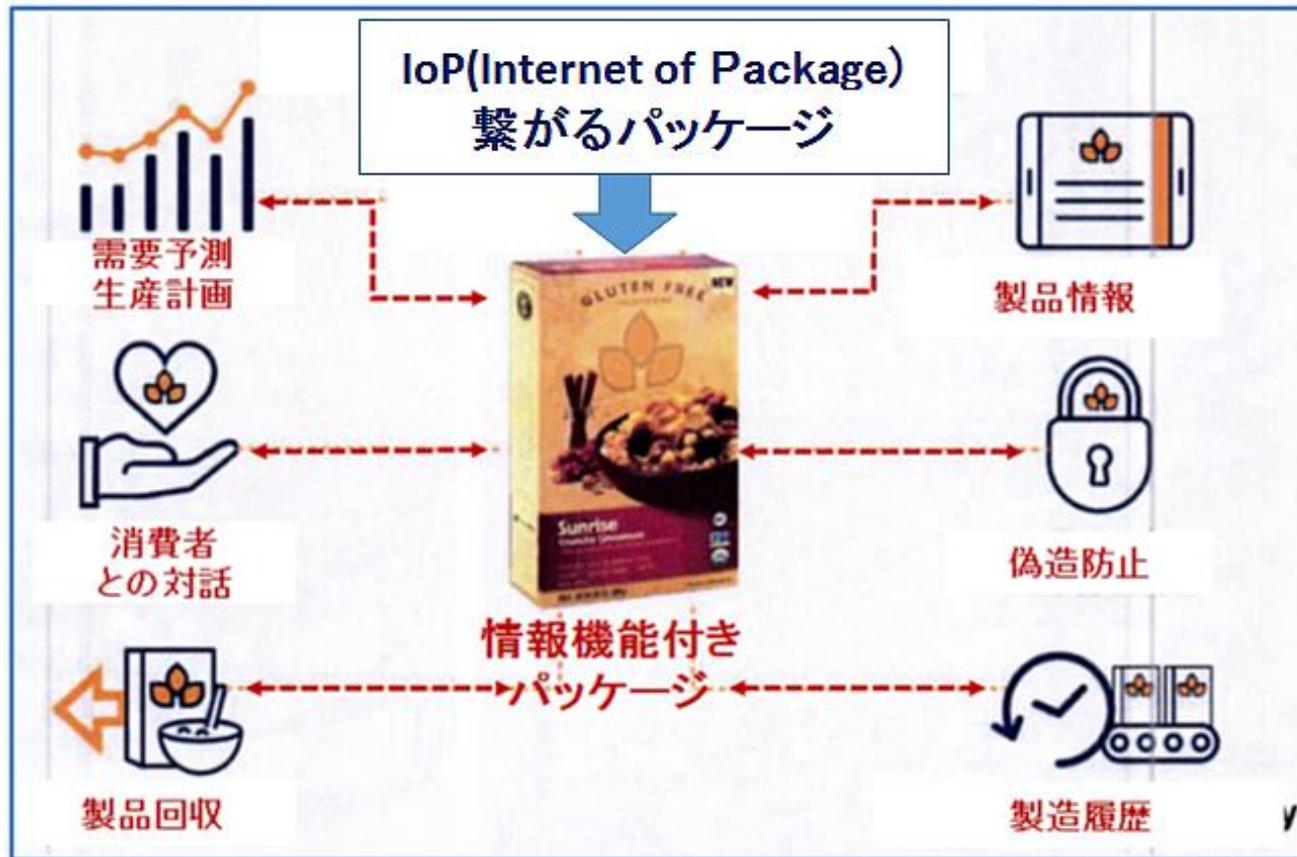
未来の食品ロス削減

食品ロス削減と包装の向かう未来

情報機能付きパッケージの登場



商品に付随するあらゆる情報が
サプライチェーンの双方向に伝達



例えば

- ・正確な需要予測
- ・効率的な生産計画
- ・各工程での品質管理



食品ロス的大幅削減

資料: Jonathan Jackson
© The Institute of Promotional Marketing Ltd, 2016

EUの成長戦略からみた包装の向かう未来

Title 循環型社会

Key Word 循環型社会・循環型経済

線形型経済から循環型経済へ（EU が目指す成長戦略）



- ・プラスチックパッケージの **1 / 3** が自然界に流出
- ・廃棄の方法は埋立や焼却



- ・パッケージのリデュース
- ・排出されるパッケージはリユース、リサイクル可能に
- ・ゴミにしない仕組みづくり

Title 循環型社会

Key Word 循環型社会の視点から見た包装の未来

2030年 地球を守る技術とパッケージ

目標 12 (つくる責任 つかう責任) * 持続可能な生産消費形態の確保

12.3 : 2030年までに一人あたりの食品ロスを半減させる

12.5 : 2030年まで廃棄物の防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減 ・ 食品ロス削減 ・ 循環型パッケージ ・ 廃棄物の大気・水・土壌へ放出を大幅削減

自然共生型社会 実現への貢献

資源循環型社会実現への貢献・循環型社会の構築 有害物質排除と汚染防止



科学技術イノベーション



海洋ごみ・海洋汚染対策



SDGsと包装の向かう未来

目標 13(気候変動に具体的な対策を)

* 気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じて実行へ
 ・ Remove, Reduce, Reuse, Recycle ・ バイオ由来包装材料 ・ CO₂ 排出抑制 ・ 廃棄ロスゼロ ・ 輸送効率向上 ・ 再生エネルギー使用

低炭素社会実現への貢献



「環境未来都市」構想推進



目標 14 (海の豊かさを守ろう)

* 海洋・海洋資源を保全し持続可能な形で利用
 ・ マイクロプラスチックによる海洋汚染防止

<http://slideplayer.com/slide/7546434/> 和訳

Title 包装材料 機能性包材

Key Word 開封・取出し易さ



http://www.toyal.co.jp/company/pdf/business_guide.pdf



http://www.toyal.co.jp/whatsnews/170914_01.html

PopPack

開封と再封が簡単なパッケージ



- ・内容物が安全に保護され流出しにくくなる
- ・開封と再封が簡単になる
- ・消費者が製品を使い切れるようになる
⇒ 食料廃棄物や包装廃棄物の削減

http://www.poppack.com/wp-content/uploads/2014/04/PopPack_Pouch_Flexible_Double-bubble-JAPANESE_FINAL.pdf

～2019年

- ・ヨーグルト蓋材(超撥水性)が登場
- ・MIT がケチャップ、マヨネーズを容器内部に残さない LiquiGlide を発表
- ・開封時に複数の感覚に働きかける人間工学的な包装

Title 包装材料 コンバーティング技術

Key Word 印刷(IDP)



2014年10月31日 電通保 毎日新聞社「NEWS BOTTLE！」
<https://dentsu-ho.com/articles/1784>

従来の印刷方式



オンデマンド印刷



株式会社 サガプリンティング社HP
<https://s-print.co.jp/works.html>

2020年～2029年

- ・製品の小ロット化、オンデマンド、多言語対応、ダイレクト販売にするため、ブランドオーナーで、容器包装の内製化が進行